

所 属	危機管理部門 防災課		
担当(係)名	防災担当	内線	2746

## 新 濃尾地震120年事業

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
1,989 (前年度 0)	一般財源 1,989	委託料 1,600 (フォーラム経費)

### 2 背景・現状

東海地震や内陸型地震などの大規模地震は、いつ発生してもおかしくないといわれているなかで、県民の防災意識は必ずしも高いとはいえないことから、地震発生時の被害を減少させるために、より一層県民の防災意識を高め「自助」、「共助」の取り組みを促進する必要がある。

※H21 県政世論調査 災害時の備えをしている人 52.9%

### 3 事業目的

明治24(1891)年に発生した濃尾地震から120年の節目を迎えるに当たり、県内全域で濃尾地震120年事業を展開し、地震の恐ろしさや災害への備えの大切さなどを市町村をはじめ関係団体等と一体となって啓発し、日々の生活の中で減災に取り組む意識の定着を図る。

### 4 事業概要

#### ○「濃尾地震120年地震防災フォーラム」の開催

濃尾地震の教訓を踏まえ、活断層、内陸地震に関する正しい知識を普及。

- ・講演
- ・パネルディスカッション
- ・濃尾地震パネル展示、地震体験車による濃尾地震の体験など

#### ○防災キャンペーン「自助実践200万人運動」の展開

- ・濃尾地震に関する巡回パネル展や防災講座を県内全域で実施。
- ・地震体験車を活用した圏域リレーキャンペーンを要援護者施設等で実施。
- ・広報誌やホームページ、新聞紙面等を活用して「自助」、「共助」の重要性を発信。

(款) 2 総務費	(項) 6 防災費	(目) (1) 防災総務費
(明細書事業名) ○ 防災運営費		
	濃尾地震120年地震防災フォーラム開催事業費	
(明細書事業名) ○ 広域防災センター運営費		
	自助の実践啓発キャンペーン事業費	